

令和3年度

第2回 日田管内地域授業改善協議会

令和3年9月27日(月)

◆各学校における組織的な学力向上の取組の推進に向けて、「指導と評価の一体化」の実現を目的として開催しました。令和3年度全国学力・学習状況調査の結果分析に基づく指導改善のポイントについて説明し、各学校で作成した分析及び指導改善について協議を行いました。

【協議会の概要】

○大分県教育庁義務教育課 指導主事 瀧口忍
日田教育事務所 次長兼指導課長 松村 義広 による説明・協議

令和3年度全国学力・学習状況調査の分析(小・中学校:国語、小学校:算数・中学校:数学)に基づく指導改善のポイントについて

【受講者の声】

- 手法についての分析では根本的な解決には至らない。課題となる資質・能力の育成に視点をあてた授業改善が必要。
- 思考ツールやICTの有効活用、説明の仕方等について、小・中のつなぎ方の視点で協議ができた。
- 分析は正答率だけでなく、解答類型のどの部分に課題があるか把握し、焦点化した指導を行うことが大切。

